

取扱説明書

ストリート走行ステアリングダンパー
ブラケットセット

商品ID

5221 (φ26)

5222 (φ31)



□特徴

- ・モンキー、ゴリラは車重が軽い上、エンジンから発生する振動の影響を受けやすい為にステアリングダンパーを取り付けすることでハンドルのフラつきを抑え走行安定性を高め、ライダーの疲労を軽減します。
- ・滑らかな動作と16段階のダンパー調整機構つきのため、セッティングの幅も十分です(商品ID 4174 ステアリングダンパー本体)。
- ・直径 φ26/31のフロントフォーク対応ステアリングダンパーブラケットです。
- ・モンキーフレーム専用アルミ製ブラケットがセットのため、取り付けは簡単に行えます。

□適合フレームタイプ(フロントフォークはφ26/31専用です)

モンキー/ゴリラ(12V) Z50J-2000001~/AB27-1000001~
モンキー/ゴリラ3.1PS(6V) Z50J-1600008~1805927
モンキー/ゴリラ2.6PS(6V) Z50J-1300017~1510400
モンキー Z50J 1000001-1195595

*FIモンキー取り付け可

□セット内容

アルミ製フロントパイプアウターブラケットφ26/31mm...1ヶ
アルミ製フレームパイプアウターブラケット...1ヶ
六角ナットM8...1ヶ
平ワッシャーM5...1ヶ
平ワッシャーM8...1ヶ
スプリングワッシャーM8...1ヶ
フランジソケットボルト(半ネジ)M8×35...1ヶ
キャップボルト(半ネジ)M5×40mm...1ヶ
アルミ製カラーシルバーφ15.8×φ8.1×10mm...1ヶ
アルミ製カラーレッドφ11×φ5.1×20mm...1ヶ
<別途必要なパーツ>
ステアリングダンパー本体...1ヶ



□取り付け方法(ステアリングダンパー本体は別販売です)

取り付け実例画像は純正フォークですが、同じ方法でφ26/31フォークへ取り付けを行うことが可能です。

<p>画像1 フレームへアルミ製フレームブラケットを固定します。固定の際、図のような角度で取り付けを行います。ステアリングダンパー取り付け面を少し下げ気味にすることでタンクとの干渉を避けることができます。</p>	<p>画像2 アルミ製フレームブラケットはタンクマウントステー溶接部分と約5mmほどクリアランスを設けて固定してください。</p>	<p>画像3 アルミ製フロントパイプアウターブラケットはヘッドライトブラケットから10mmほど下げた位置へ固定します。タイロッド接続ネジ穴はハンドルロックに干渉しない位置へ取り付けします。</p>	<p>画像4 タイロッドへボルトM8×35を使いステアリングダンパーのタイロッド側を取り付けてください。ボルトM8×35、タイロッド、アルミ製カラー(シルバー)の順に組み込みします。</p>	<p>画像5 ステアリングダンパークランプブラケットは当社にて部品を組み込み済みです(仮止め状態です)。ステアリングダンパーのパイプ本体へ取り付けします。</p>
<p>画像6 次にフレーム側です。タイロッドへM8ナット、M8スプリングワッシャー、M8平ワッシャーの順で取り付けします。</p>	<p>画像7 ハンドルを目いっぱい左へ舵を切った際にダイヤルノブと本体の間に3mmほどクリアランスが残るようにステアリングダンパークランプの位置を調整します。*スタンド立て掛け時(ハンドルが左へ目いっぱい傾きます)に負担が掛からないよう、クリアランスは必要です。</p>	<p>画像8 右へハンドルを切ります。その際にダンパーが写真のような位置へ来た際、ハンドルストッパー(フォーク部とフレーム部が当たる部分のこと)に当たることがあります。ショートダンパーのため、十分な稼働範囲が確保できません。そのため右へハンドルを切る場合はストローク状態に注意してください。負荷を掛けると壊れる恐れがあります。</p>	<p>画像9 イグニッションコイルは移設が必要です。コイル本体を20mm後方へ移動させるため、M5×40mmと平ワッシャーM5、アルミ製カラー(レッド)を使用して、画像のようなイメージで取り付けします。</p>	<p>画像10 取り付け完成時のイメージです。タンクとステアリングダンパーが干渉しないこと。スタンド立て掛け時に本体とノブの間3mmほどクリアランスがあること。以上に注意してください。クリアランス等が十分でない場合はもう一度調整を行ってください。</p>

注意事項



ステアリングダンパーは16段階の硬さ調整機構があります。馴らし走行中はダンパーが”弱”の状態スタートし、様子を伺いながら”強”寄りへ調整していきます。ダイヤルを時計回りに操作すると硬さが増します。ダイヤルノブはイモネジで固定しています。走行前と走行途中に緩みが発生しないことを確認してください。ダンパーにはオイル溜まりが発生しますが、ダンパーをスムーズに動かすためにオイルが付着します。異常ではありませんので、ご安心ください。

ミニモト商品についてのご質問、ご意見は「お客様相談窓口」0266-75-5770 まで